

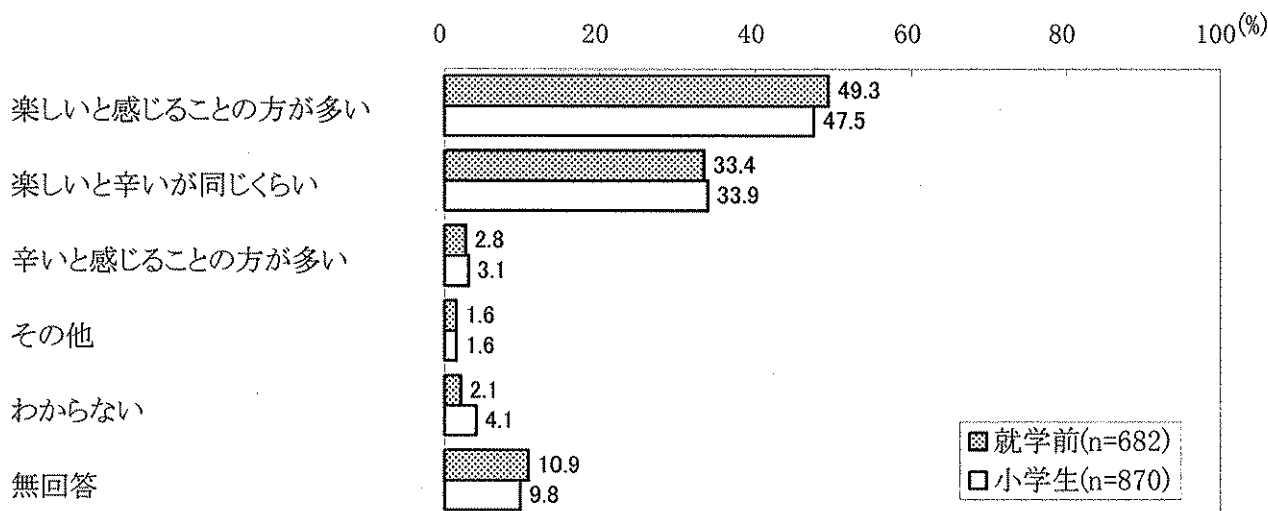
**第3章**  
**子育て家庭を取り巻く状況**

# 1. 地域における子育て支援

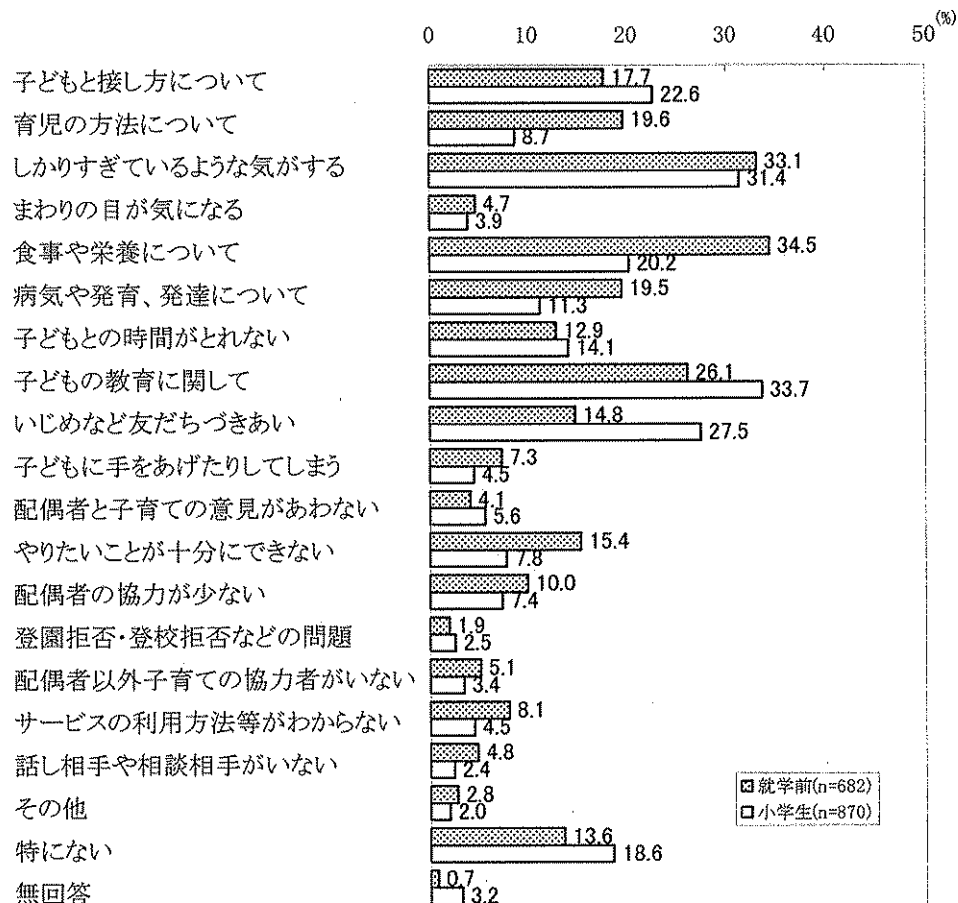
## (1) 子育てに関する気持ち、子育てにおける不安・悩み等

- 子育てに関する気持ちとしては、就学前、小学生とも、どちらかというところ「楽しい」と感じる保護者が半数をしめています。
- 子育てにおける不安・悩みとしては、それぞれがおかれている状況の中でもっとも関心の高いと思われる、就学前では「食事や栄養について」が、小学生では「子どもの教育に関して」がそれぞれもっとも高くなっています。次いで、「しかりすぎているような気がする」がそれぞれ第2位となっています。
- 今後の子育て支援のあり方としては、就学前、小学生とも「子育て費用の軽減」「働きながら子育てできる環境づくり」が圧倒的に高くなっており、経済的な支援と「ワーク・ライフ・バランス」の達成が最大の関心事となっています。
- ひとり親家庭等でも経済的支援が第1位となっているほか、「病気時の日常生活支援」「保育所等への優先入所」など保育サービスへの支援は3割台で、関心の高い支援策として続いています。
- 悩みや不安への相談相手としては、就学前、小学生とも「親や兄弟・姉妹など」「配偶者・パートナー」など身近な経験者を中心に親族に頼る傾向が強いことが分かります。
- 次いで、保育士、幼稚園や学校の先生などが続いており、公的機関はほとんど挙げられていません。
- このように、子育てが楽しいと考える保護者がもっと増えるためには、親族などに代わって、身近なところで、身近な悩みや不安に応えられる公的な支援のあり方が求められます。

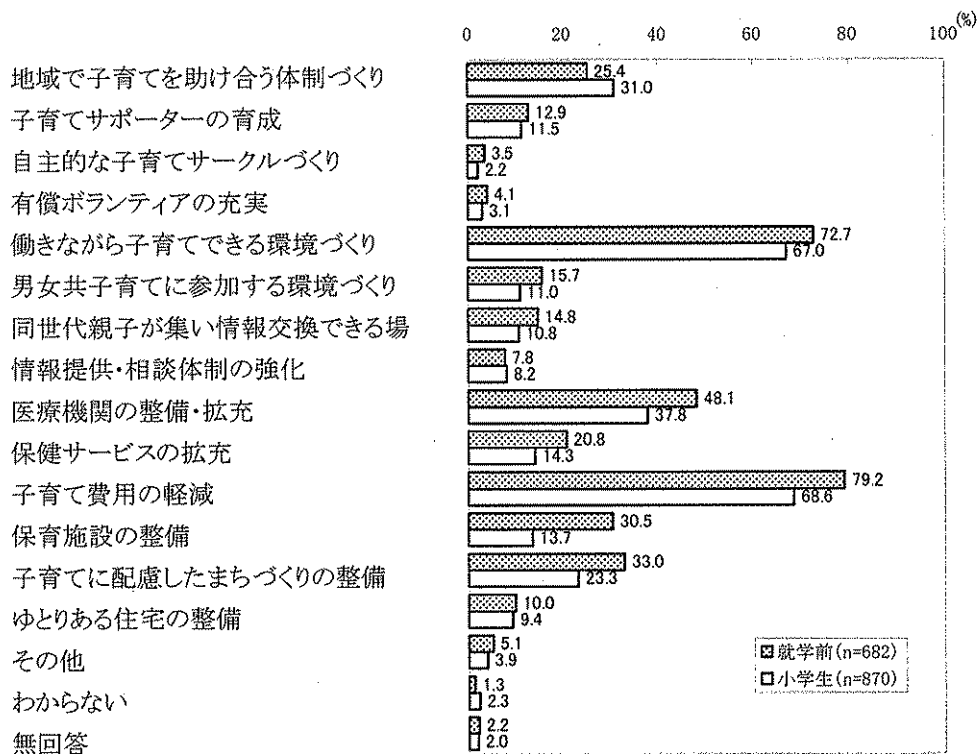
■子育てに関する気持ち／就学前・小学生アンケート(複数回答)■



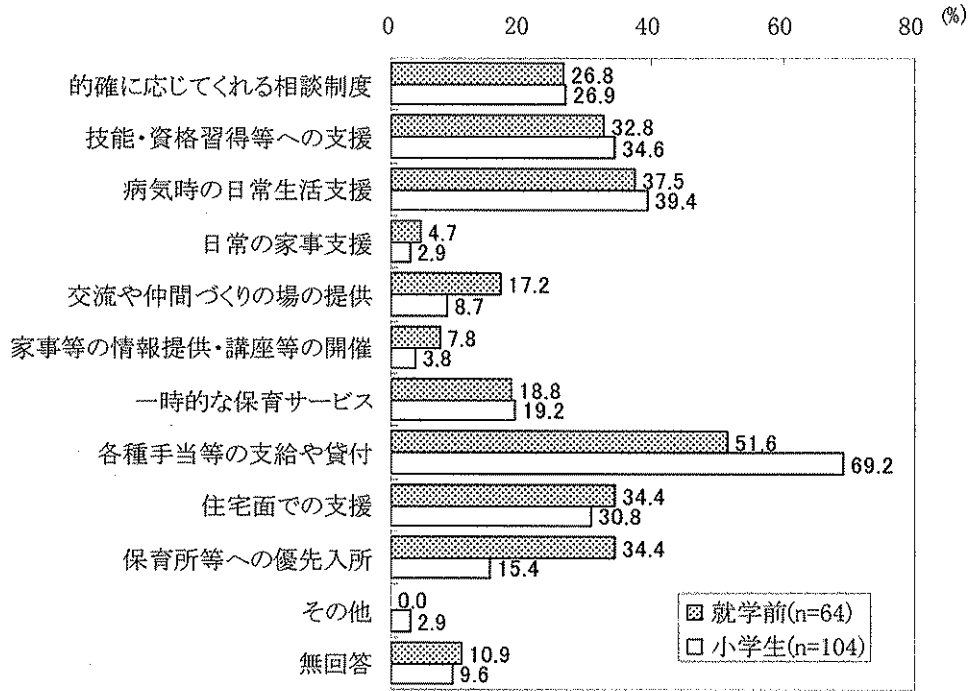
■子育てについての不安や悩み／就学前・小学生アンケート(複数回答)■



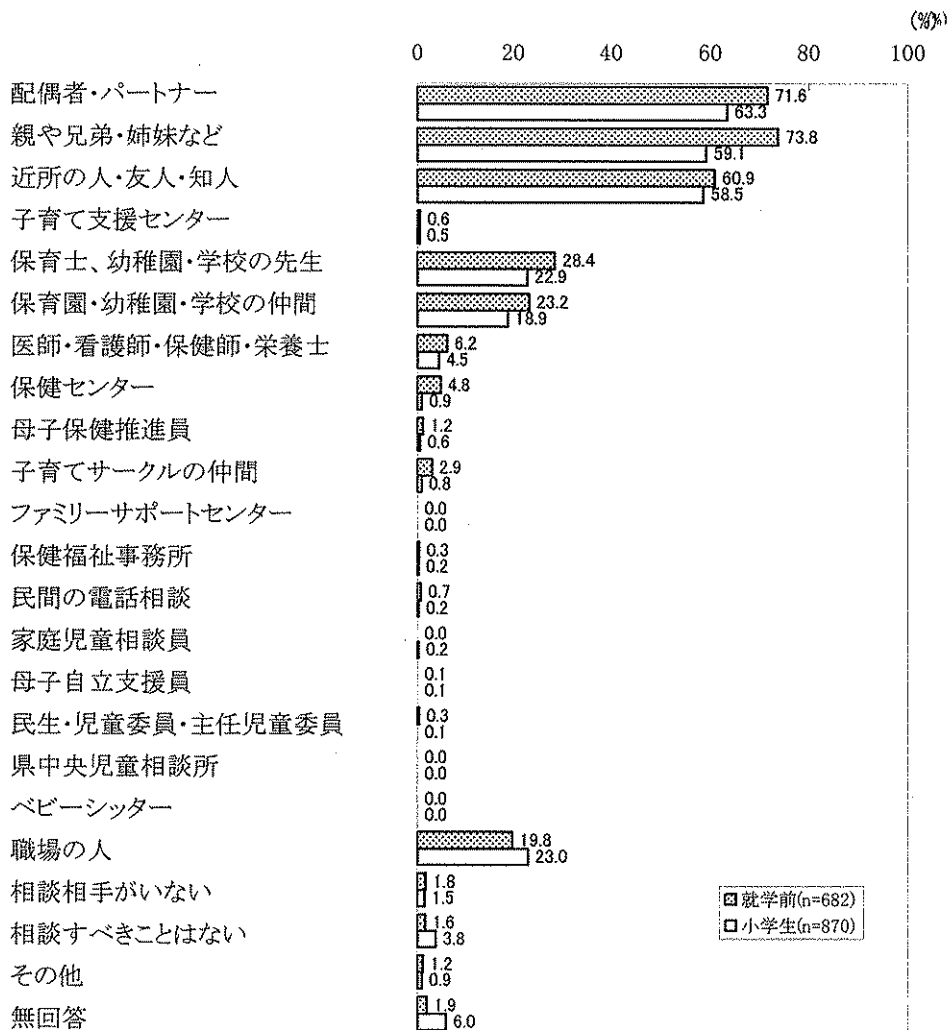
■今後の子育て支援のあり方等について／就学前・小学生アンケート(複数回答)■



■ひとり親家庭等の支援策／就学前・小学生アンケート(複数回答)■



■悩みや不安の相談場所・相談相手／就学前・小学生アンケート(複数回答)■

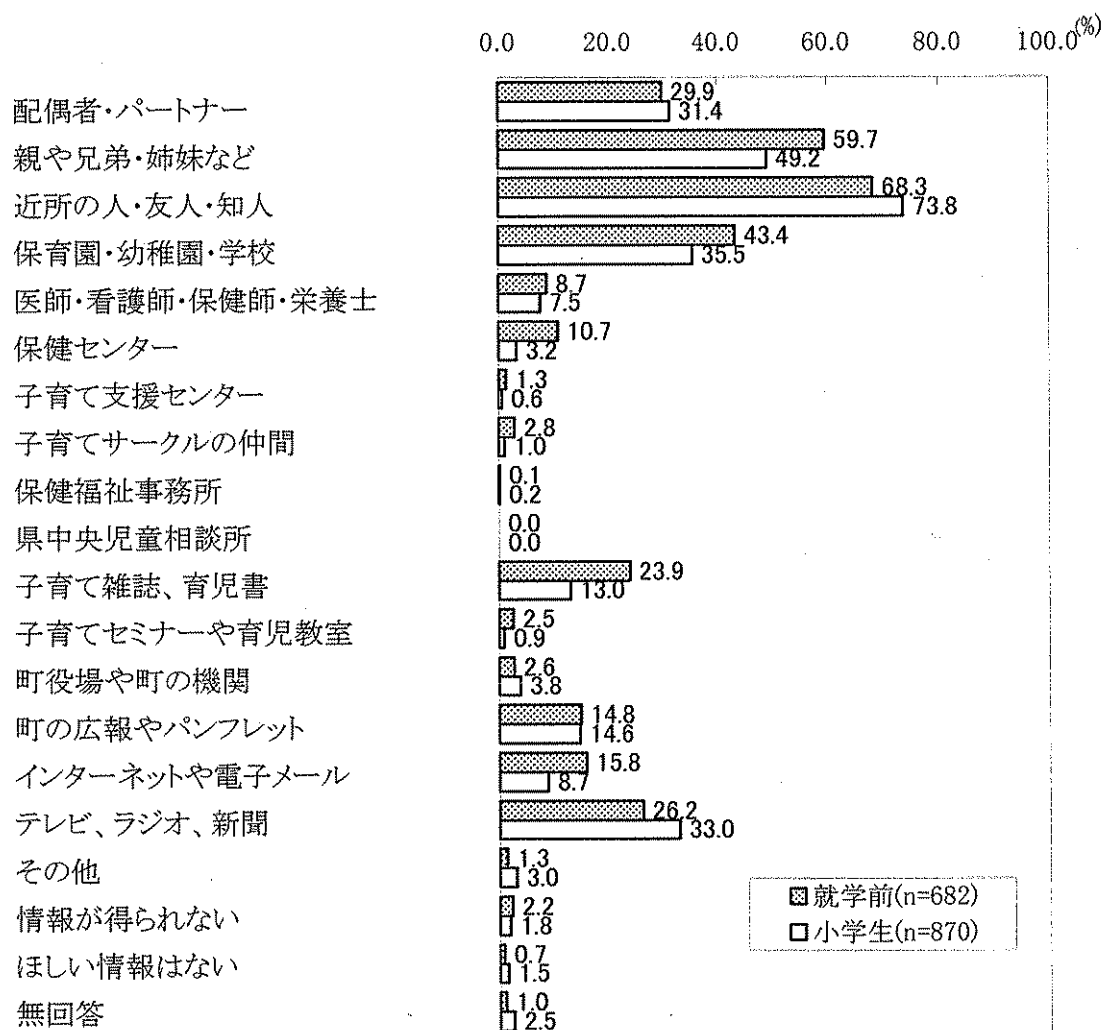


## (2) 地域の子育て環境の状況

### ①子育て情報の入手方法

- 子育てに関する情報の入手方法としては、就学前、小学生ともに「近所の人・友人・知人」が7割前後を占めて圧倒的に高く、同じ悩みをもつ仲間同士の情報が最も高い評価を得ていることが分かります。次いで、父母・兄弟・姉妹等の家族・親族が1つの情報源となっているものの、子どもを預けている保育所・幼稚園・学校も40%近い評価を得ています。
- また、「テレビ・ラジオ・新聞」といったマスコミや「子育て雑誌・育児書」といった市販の情報誌も貴重な情報源となっています。
- 公的な相談相手や相談場所の情報源としての利活用は全体としてはまだ低く、それぞれの情報源のニーズに対応したPR活動の推進など利活用促進のための方策等を早急に検討する必要があります。

■子育て情報入手方法/就学前・小学生アンケート(複数回答)■



## ②町からの情報提供の状況

- 町からの情報提供方法としては、ホームページや町広報紙、ガイド本「みやき」等があります。
- ホームページでは、「医療・福祉・健康づくり」「育児・教育」関連の生活情報や広報紙の掲載が行われています。
- 文書のうち、広報紙は月1回、ガイド本「みやき」は、平成17年2月発行の「みやき町住民便利帳」に記載されています。
- 住民の情報手段としては、いずれも10%台と低く、掲載内容の充実や一層のPRが必要となっています。

### ■情報提供の状況■

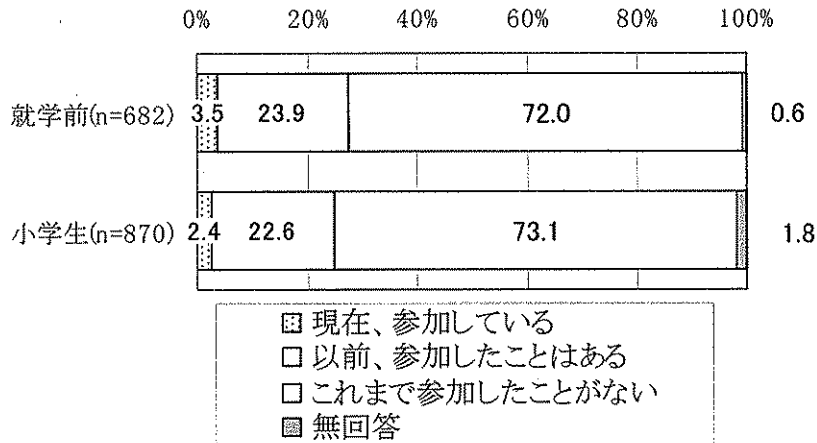
提供媒体		提供概要(頻度、内容等)
ホームページ	医療・福祉 ・健康づくり	・医療・福祉・健康づくり、福祉・国民年金、健康づくり・献血について掲載
	育児・教育	・出産・育児・健康、児童福祉・母子福祉・安全・保育所、学校教育・青少年教育について掲載
	広報みやき	町広報紙の掲載
文書	町広報紙	・広報みやき … 月1回発行、全戸配布
	ガイド本『みやき』	・平成17年2月発行 ～みやき町住民便利帳～

## ③保護者のサークル参加状況と今後の希望

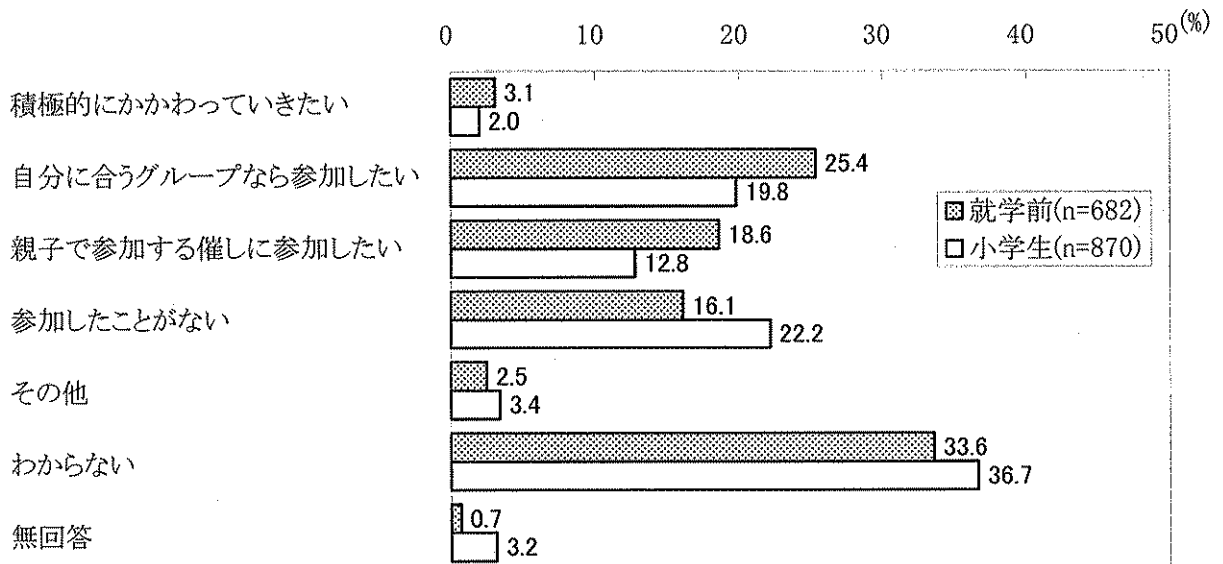
- 各種サークルへの参加状況をみると、現在何らかのサークルに参加している保護者は就学前で3.5%、小学生で2.4%となっており、以前参加したことのある人を含めると就学前で27.4%、小学生で25.0%になります。
- 今後の参加希望では、就学前で47.1%、小学生で34.6%の保護者が参加希望をもっており、具体的には「自分に合うグループがあれば、参加して協力したい」「親子で参加する催しに参加したい」が目立って高くなっています。保育サービスにおける利用者間のネットワークの形成が重要であることから、各種サークル形成とネットワークづくりへの支援が求められています。

■保護者のサークル参加状況と今後の希望／就学前・小学生アンケート■

1) 各種サークルへの参加状況



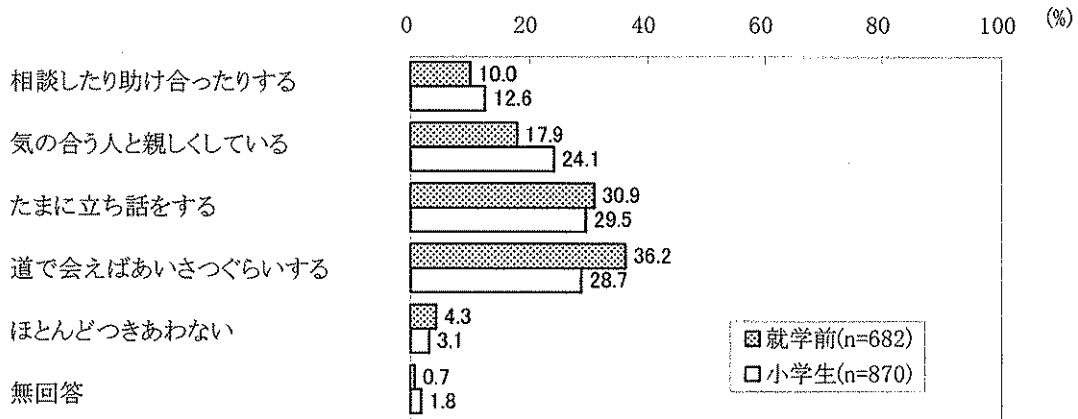
2) 今後の参加希望



④隣近所とのつきあい方

●隣近所とのつきあいでは、就学前、小学生ともに「道で会えばあいさつぐらいする」(就学前 36.2%、小学生 28.7%) がもっとも高く、次いで「たまに立ち話をする」が30%前後と、地域連帯感の希薄化が表れています。

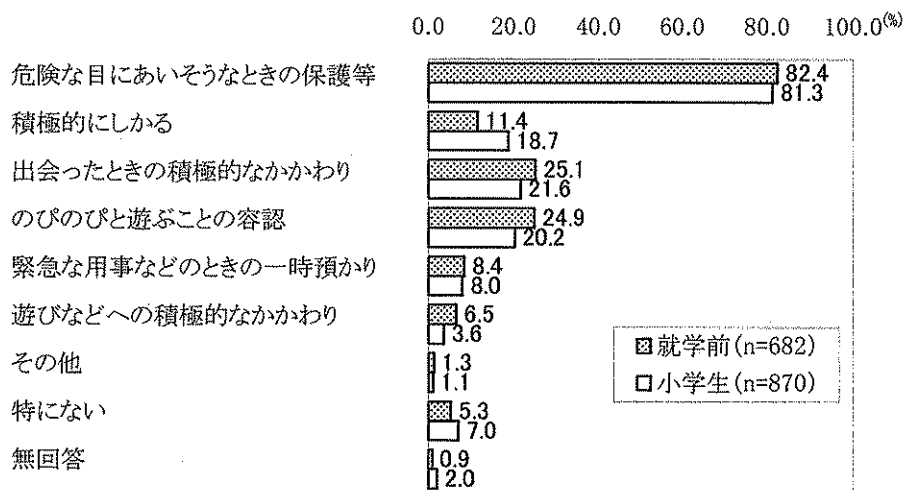
■隣近所とのつきあい／就学前・小学生アンケート■



⑤近所や地域に期待すること

●近所や地域の人たちにしてもらいたいことでは「危険な目にあいそうなときの保護等」が就学前、小学生ともに80%以上と圧倒的に高く、地域の人たちの気付きに高い期待を抱いており、地域のかかわりのあり方が求められます。

■近所や地域の人たちにしてもらいたいこと(複数回答)■





### (3) 各種啓発活動の実施状況

●本町における各種啓発活動としては、住民を対象に「みやき町人権問題を考える研修会」を開催し、人権問題の啓発を図っています。

#### ■各種啓発事業■

事業名	対象者等	事業概要(設置件数等)
みやき町人権問題を考える研修会	住民	講演会を開催し、人権問題の啓発を図る。

### (4) 認可保育所の状況

- 本町には、平成21年4月1日現在、5カ所の保育所があり、合計で399人の児童が入所しており、入所児童は、平成20年度までの減少傾向から平成21年度には若干増加に転じています。
- 延長保育は、5園が実施しており、18:30～19:00の30分の延長保育をしています。
- その他の保育サービスとして、一時保育は、平日は原則8:30～17:00の利用時間で実施されています。
- なお、保育士については、様々な研修等を通して、保育技術や知識の向上に努めています。

#### ■保育所の状況(各年4月1日現在)■

区分	保育所数(カ所)	定員数(人)	児童数(人)					合計(人)	
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳
平成17年度	5	470	11	40	85	103	112	92	443
平成18年度	5	470	10	50	60	97	113	114	444
平成19年度	5	470	8	60	67	79	101	117	432
平成20年度	5	470	13	47	69	77	85	102	393
平成21年度	5	470	13	66	69	80	86	85	399

(注)児童数は広域入所、区域外保育所への入所者は含まない。

#### ■保育所のサービス■

区分	概要	実施状況
障害児保育	・集団保育が可能な保育に欠ける障がい児(*)を、健常児との集団保育が適切に実施できる人数の範囲内で受け入れて行う保育 *特別児童扶養手当の支給対象児	・風の子保育園、板部保育園、江口保育園、ちくし保育園、いずみ保育園の5園で実施
延長保育	・通常の保育所開所時間の前後に、時間を延長して行う保育	・風の子保育園、板部保育園、江口保育園、ちくし保育園、いずみ保育園の5園で実施 ・延長時間 18:30～19:00
一時保育	・保護者の勤務・病気・育児疲れ解消等の理由により、一時的に(月14日以内)保育に欠ける児童に対して行う保育	・利用時間は、8:30～17:00まで(土曜日は正午) ・ただし、保護者の労働に伴う利用の場合は、7:30～19:00まで(土曜日は正午)

### ■保育士の研修等■

主 体	事業概要	
佐賀県保育事業研究会	県内の保育所 研究大会	
みやき町保健センター	保育園における歯科保健教室	
みやき町教育委員会	みやき町幼保小連絡協議会	
小学校	幼保小連絡会	
鳥栖・三養基地区消防事務組合	普通救命講習会	
佐賀県保育会	運動会・お遊戯会 遊戯講習会	
	幼児交通安全教育指導者研修会	
東部地区保育協議会	東部地区保育園職員研修会	
	保育指針の改定についての講習会	
	東部地区園長会	年間 4回
	園長・主任保育士合同会	年間 2回
	4・5歳児研究会	年間 5回
	給食部研究会	年間 4回
	研究員・主任合同会	年間 1回

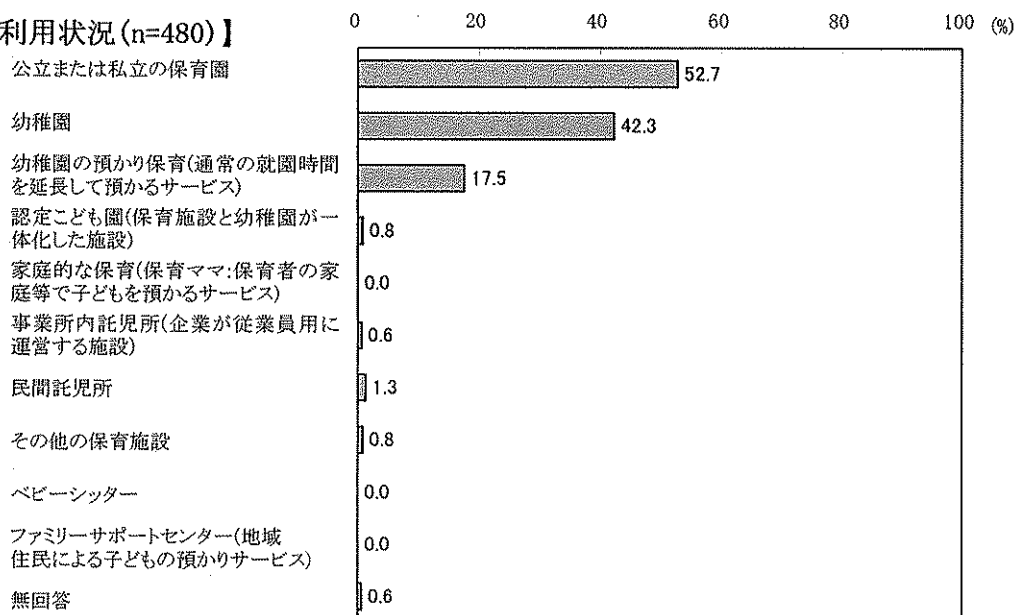
(注)平成 20 年度現在

### (5) 保育サービスの利用状況と今後の利用希望

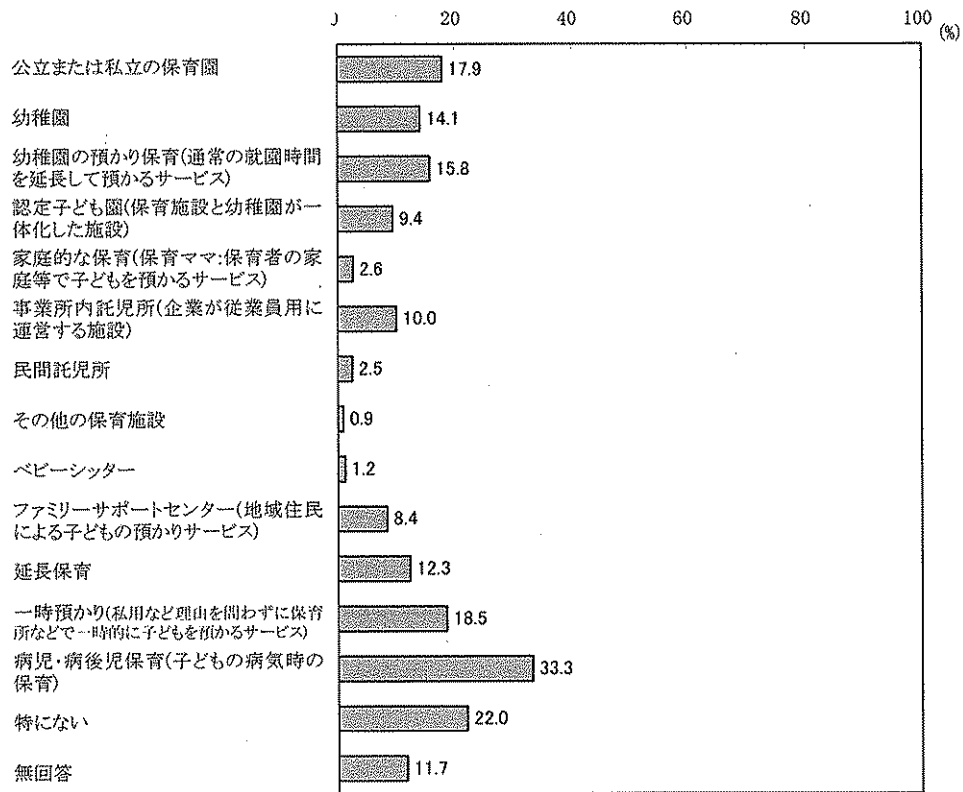
#### ①保育サービスの利用実態と今後の意向(就学前)

- 現在利用している保育サービスとしては、「公立または私立の保育所」が 52.7%と半数を占めるほか、「幼稚園」の 42.3%、「幼稚園の預かり保育」の 17.5%と続き、それ以外はいずれも 1%前後の利用率となっています。
- 今後利用したい保育サービスをみると、今後利用したい保育サービスをみると、「病児・病後児保育」が 33.3%でもっとも高く、次いで、「一時預かり」の 18.5%、「公立または私立の保育所」が 17.9%となっており、病気時や緊急時での対応が求められています。

#### 【現在の利用状況(n=480)】



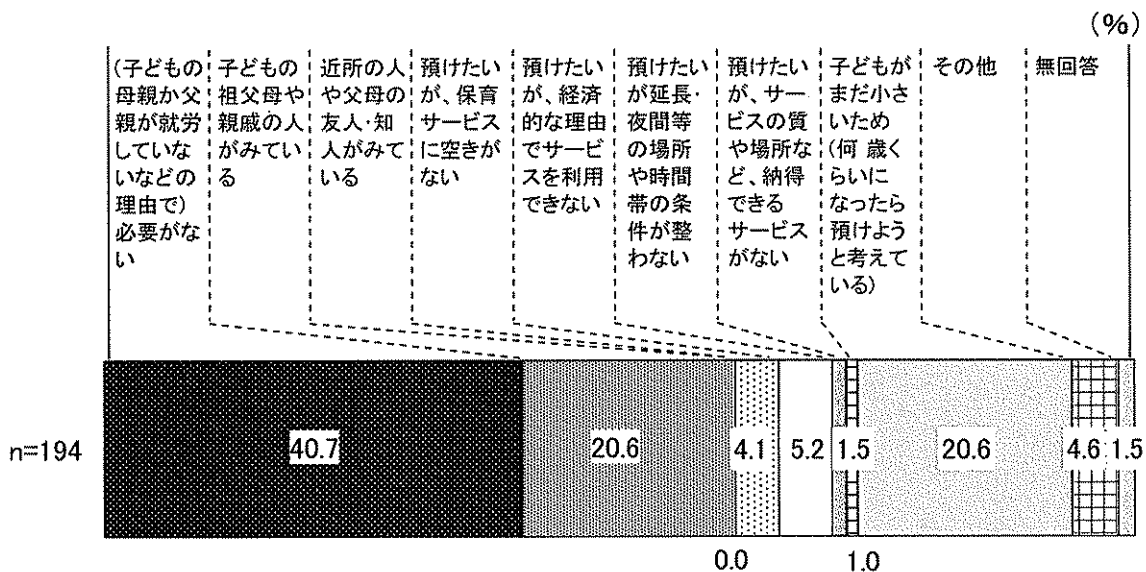
【今後の利用希望(n=682)】



②認可保育所を利用していない理由(就学前)

●利用していない理由としては、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」(40.7%) がもっとも高くなっています。「子どもがまだ小さいため」を選んだ対象者への預けたいと思う子どもの年齢は平均で2.5歳となっています。

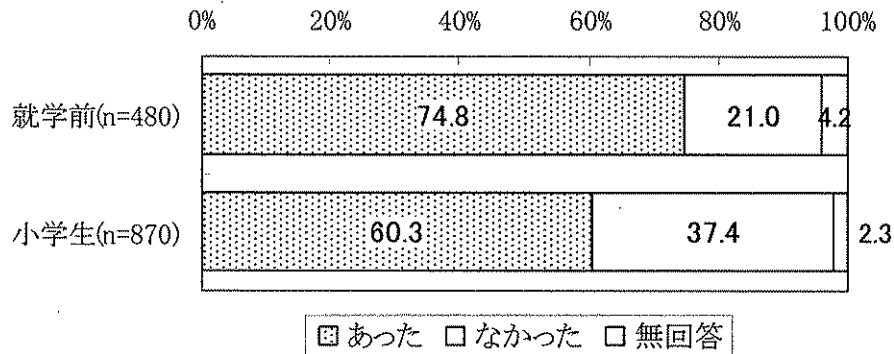
■認可保育所を利用していない理由/就学前アンケート(複数回答)■



### ③子どもが病気の際の保育の状況

- この1年間に、子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった経験では、就学前で74.8%、小学生で60.3%となっています。
- 対処方法としては、就学前では「母親が休んだ」61.6%「(同居者を含む)親族・知人に預けた」44.6%であり、小学生では「母親が休んだ」47.4%「(同居者を含む)親族・知人に預けた」36.2%となっており、就学前では母親への負担が目立って高くなっています。

#### ■保育所や小学校等を休まなければならないことの有無/就学前・小学生アンケート■

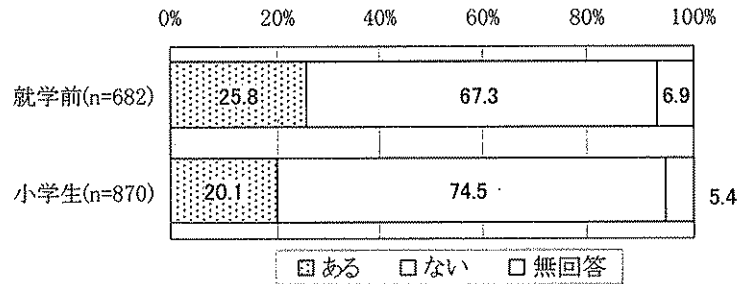


### ④一時預かり等のニーズ

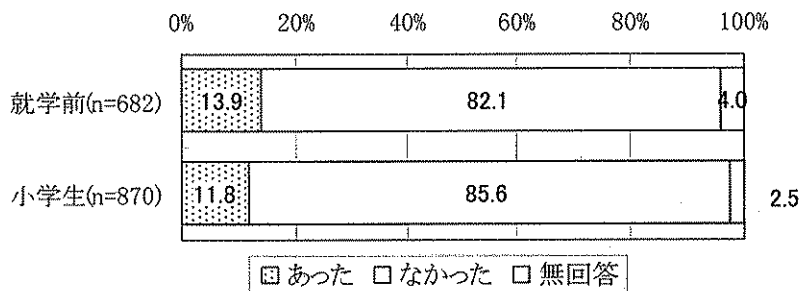
- この1年間で、緊急の用事等で、子どもを家族以外の誰かに、一時的に預けた経験についてみると、「ある」は就学前で25.8%、小学生で20.1%となっており、4人から5人に1人は、1年間で一時預かりを必要としていたことが分かります。
- その理由としては、就学前では「私用(買物、習い事等)リフレッシュ目的」が54.5%で、小学生は「就労」が55.4%でそれぞれもっとも高くなっています。
- この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならない経験についてみると、「あった」が就学前は13.9%、小学生は11.8%となっており、おおむね1割強のニーズとなっています。
- 現在、町にはない「ファミリーサポートセンター」の利用については、今後、整備されれば利用すると回答した保護者は、就学前で24.8%、小学生で16.6%となっており、とくに就学前については4人に1人の割合で要望していることになり、一時預かりニーズの受け皿となるサービスの一つとして検討することも必要となっています。

■一時預かり等のニーズ/就学前・小学生アンケート■

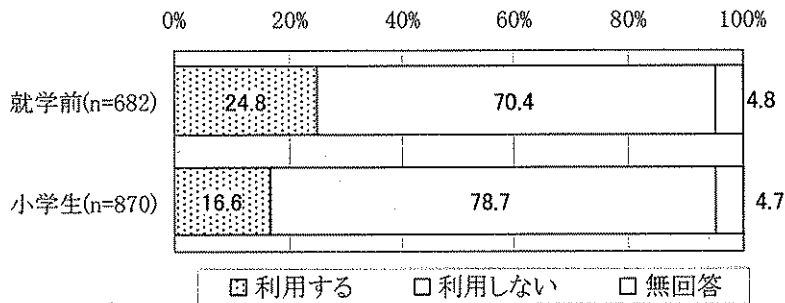
【緊急の用事で子どもの面倒が見られなくなった経験】



【泊りがけで家族以外に預けなければならなかった経験】



【ファミリーサポートセンター利用意向】



(6) 地域における子育て支援の基盤整備の状況

- 相談事業としては、現在2つの相談活動があり、児童、母親に対する一般健康相談、育児相談となっています。
- 民生委員・児童委員の活動状況をみると、訪問日数、訪問回数の延べ数は、平成19年度までの増加傾向から平成20年度は減少に転じています。

■相談事業(母子家庭含む)■

活動項目	内容(相談員数、相談種類、相談者数等)
一般健康相談	日時:毎週月曜日 内容:心身の健康に関する相談、健診結果に関する事、健康管理に関する事等に保健師、栄養士が対応しています。電話での相談にも随時、応じています。
育児相談	日時:毎週月曜日 内容:子育てに関する悩み、発達に関する事、栄養に関する事、予防接種に関する事等に保健師、栄養士が対応しています。電話での相談にも随時、応じています。

■民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動状況(みやき町)■

	相談・支援								要保護児童の発見 の通告・仲介	活動日数	訪問回数
	在宅福祉	健康・保健医療	子育て・母子保健	家族関係	生活費	年金・保険	生活環境	その他			
平成17年度	216	120	59	91	41	14	92	1,776	78	13,384	13,384
平成18年度	141	174	171	62	110	18	87	1,458	87	15,309	16,303
平成19年度	143	140	60	98	78	18	117	1,313	29	16,128	19,674
平成20年度	111	65	16	49	38	13	91	1,098	29	15,420	18,282

(資料:福祉行政報告例)

(7) 放課後児童クラブの状況

①放課後児童クラブの現状

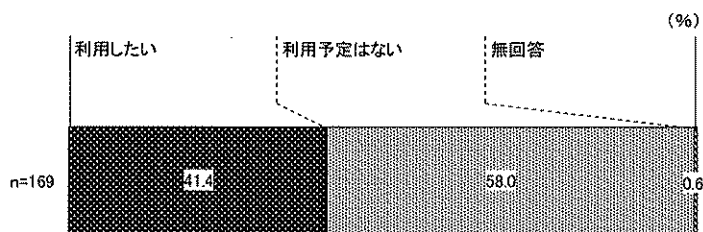
●放課後児童クラブは現在4箇所であり、年々利用者は増加傾向にあります。

■放課後児童クラブ延べ利用者数■

	17年度	18年度	19年度	20年度
ひまわり児童クラブ	48	63	65	67
北茂安児童クラブ	54	55	52	50
三根東児童クラブ	12	12	20	27
三根西児童クラブ	29	21	20	20
合計	143	151	157	164

②放課後児童クラブの利用意向(小学生)

●放課後児童クラブの利用意向をみると、「利用したい」は41.4%と4割の対象者が希望しています。利用したい1週当たりの日数としては、平均で4.6日となっています。



## (8) 子どもの遊び場環境の状況

### ①子どもの遊び場の整備状況等

- 子どもの遊び場としては、遊具等子どもたちが遊べる環境をもつ公園が考えられます。
- 本町では下表のように農村公園も含め 53 カ所の地区公園等が設置されています。
- 町内 7 つの小中学校では、学校施設の開放を行っていますが、ほとんどがスポーツ少年団活動での利用であり、遊び場としての利用は少ない状況です。
- 人材育成の場としては、少年スポーツクラブ保護者・指導者を対象に、年 1 回合同研修会を開催しています。
- 今後は、アンケートでも要望の高かった雨天時での環境整備や身近にある小・中学校の全面開放等が当面の課題となっています。

### ■子どもの遊び場の整備状況〈都市公園等の設置状況〉■

番号	地区名	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	設置年度
1	山田	大字篠原4952・4949	600.00	S51
2	篠原	大字篠原2973	1000.00	S49
3	姫方(北住宅)	大字篠原1370-1	295.00	S42
4	姫方(南住宅)	大字篠原1430-1	169.00	S40
5	姫方(神社内)	大字篠原1476	2062.00	S55
6	姫方(栗崎)	大字篠原1237-108	315.00	S59
7	中原(神社内)	大字篠原642	957.00	S51
8	東寒水(公民館)	大字原古賀7232	684.00	S50
9	東寒水(町南)	大字原古賀7450-44	223.00	S51
10	東寒水(旧住宅)	大字原古賀6976-11	156.00	S39
11	西寒水(旧住宅)	大字原古賀6731-100	260.60	S47
12	原古賀(住宅)	大字原古賀605-1	370.00	S30
13	綾部(お寺下)	大字原古賀2470	2000.00	-
14	東尾(あらごろう公園)	大字東尾2891	517.21	H6
15	西尾(アニマルパーク)	大字東尾2166-66	2838.50	H6
16	板部(フラワーパーク)	大字中津隈2608-42	279.02	H6
17	中津隈東・西(メルヘンパーク)	大字中津隈3792-1	4225.13	H6
18	江口(江口グリーンランド)	大字江口1278-1	2130.00	H6
19	西大島(のりもの公園)	大字江口7030-1	2255.00	H8
20	中野(キリン公園)	大字江口2082-1	332.00	H6
21	東大島(風車公園)	大字江口2164-1	884.00	H2
22	東大島団地(*)	大字江口2492-140	727.00	H6
23	豆津(ゆめの木広場)	大字江口3344-1	944.25	H6
24	笹野(フルーツパーク)	大字江口2529-84	598.00	H6
25	市原(バードパーク)	大字白壁1099-1	1031.84	H6
26	石貝(ふれあい広場)	大字白壁2660-1	3041.00	H6
27	白壁(ファミリー公園)	大字白壁2650-2	3427.13	H8
28	座主野(セントラルパーク)	大字白壁5236-1	1460.90	H6
29	血山(いこいの森公園)	大字白壁3963-1	9678.00	H6
30	白石(ベビーパーク)	大字白壁4291-1	327.60	H6
31	石貝団地(マリンパーク)	大字白壁2738-2	547.00	H6
32	大坂間農村公園	大字寄人1705-4	969.00	S53
33	東津農村公園	大字東津1923	1450.00	S54
34	和泉農村公園	大字寄人1533-20	811.00	S54
35	松枝農村公園	大字東津1240-2	1389.00	S55
36	向島農村公園	大字東津357-1	1161.00	S55
37	納江農村公園	大字坂口208	890.85	S56
38	南島農村公園	大字天建寺1418-1	1646.00	S58
39	直代農村公園	大字寄人332	1494.00	S60
40	市武農村公園	大字市武543-1	1816.00	S61
41	土井内農村公園	大字天建寺2068-1	1990.00	S63
42	東分農村公園	大字西島2835-2	1886.00	H1
43	新村農村公園	大字寄人945-5	2427.00	H1
44	西分農村公園	大字西島2474-2	2223.00	H2
45	田中農村公園	大字西島525-2	1915.00	H2
46	本分農村公園	大字西島1403	1770.00	H3
47	持丸農村公園	大字天建寺271-3	1399.00	H3
48	南里ヶ里農村公園	大字寄人2444-2	1050.00	H3
49	総命院農村公園	大字寄人460-1	1061.00	H5
50	土井外農村公園	大字天建寺3321	2000.00	H6
51	田島農村公園	大字西島247-4	1592.00	H6
52	浜田児童公園	大字坂口3425	2062.80	S56
53	江見(*)	大字市武1423・1424-1	793.24	-

(注) \*は町が指定した公園、それ以外は町が整備した公園

■その他子どもの遊び場等の確保の状況■

事業名	事業概要	実施内容(回数、利用者数等)																										
学校施設開放事業	町内7校(小・中)で開放	スポーツ少年団活動での利用が主な為、遊び場としての利用は少ない。																										
		利用件数																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>児童生徒</th> <th>青年</th> <th>婦人</th> <th>一般</th> <th>高齢者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>83</td> <td>0</td> <td>31</td> <td>49</td> <td>3</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>95</td> <td>5</td> <td>47</td> <td>57</td> <td>3</td> <td>207</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	児童生徒	青年	婦人	一般	高齢者	合計	小学校	83	0	31	49	3	166	中学校	12	5	16	8	0	41	計	95	5	47	57
学校名	児童生徒	青年	婦人	一般	高齢者	合計																						
小学校	83	0	31	49	3	166																						
中学校	12	5	16	8	0	41																						
計	95	5	47	57	3	207																						

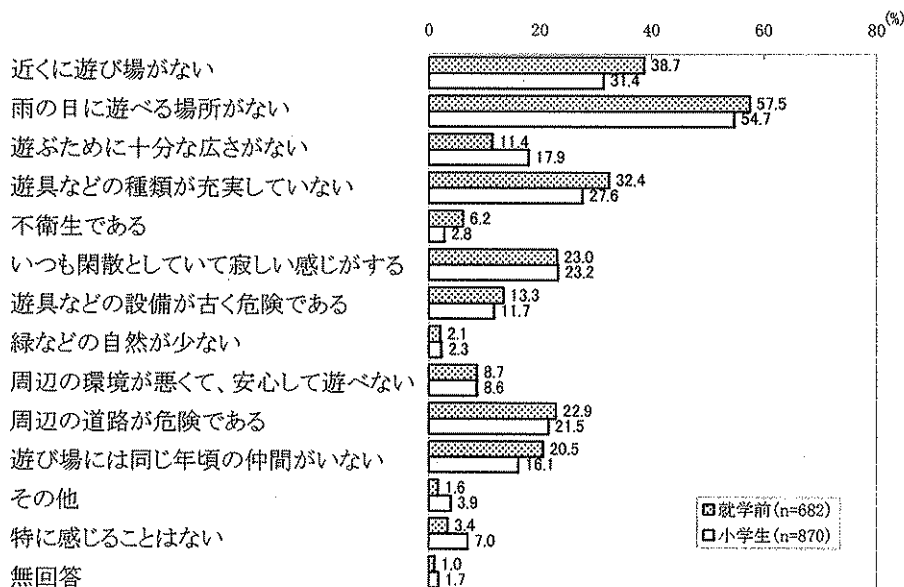
■子どもの遊びを指導する人材の育成状況■

事業名	事業概要	実施内容(回数、参加者等)
少年スポーツクラブ振興会 (保護者・指導者合同研修会)	少年スポーツクラブ保護者・指導者を対象に、子どもを指導していく上で必要な知識と技術を習得するための研修会	1回/年 70名

②子どもの遊び場についての評価

- 子どもの遊び場について感じていることは、就学前、小学生ともに「雨の日に遊べる場所がない」が過半数を超えて圧倒的に高く、屋内の遊び場の確保が望まれています。
- 次いで「近くに遊び場がない」がともに全体の3割から4割で続き、以下「遊具などの種類が充実していない」「いつも閑散としていて寂しい感じがする」「周辺の道路が危険である」等となっており、町内どこからでも利用でき、安全で遊具の揃った遊び空間への要望が高くなっています。

■子どもの遊び場について感じていること/就学前・小学生アンケート(複数回答)■





## (9) 子育て支援サービス等の認知度・利用経験・利用意向・満足度

### ①認知率

- 子育て支援サービスの認知状況としては、就学前児童、小学生とも「①母親学級、両親学級、育児学級」「②保健センターの情報・相談サービス」の2つのサービスが圧倒的に高くなっています。
- その他は、いずれも半数以下の認知率となっています。就学前児童においては、「⑩家庭児童相談室」や「③家庭教育に関する学級・講座」は2割弱と低調です。

### ②利用率

- 利用経験では、就学前児童、小学生とも認知率の高い「①母親学級、両親学級、育児学級」「②保健センターの情報・相談サービス」の2つのサービスは、比較的高い利用率となっていますが、そのほかは、いずれも1割前後かそれ以下と低調です。

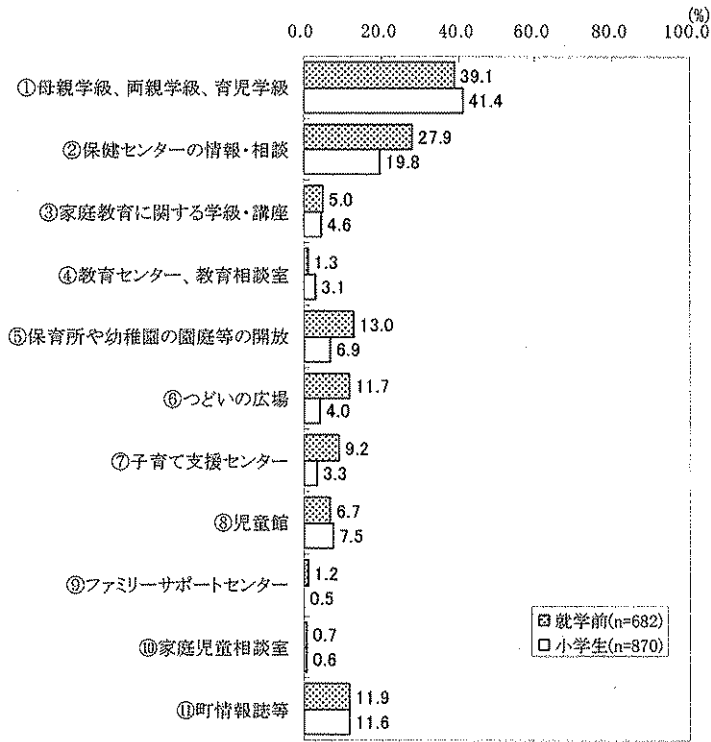
### ③利用意向率

- 今後の利用意向としては、認知率・利用率に関係なく、就学前児童では、いずれもおおむね3割から4割程度、小学生では2割前後の利用意向となっています。
- これらの中では、「②保育センターの情報・相談サービス」「③家庭教育に関する学級・講座」「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」「⑪町発行の情報誌等」は比較的高く、情報収集源や相談先等へのニーズの高さを示しています。

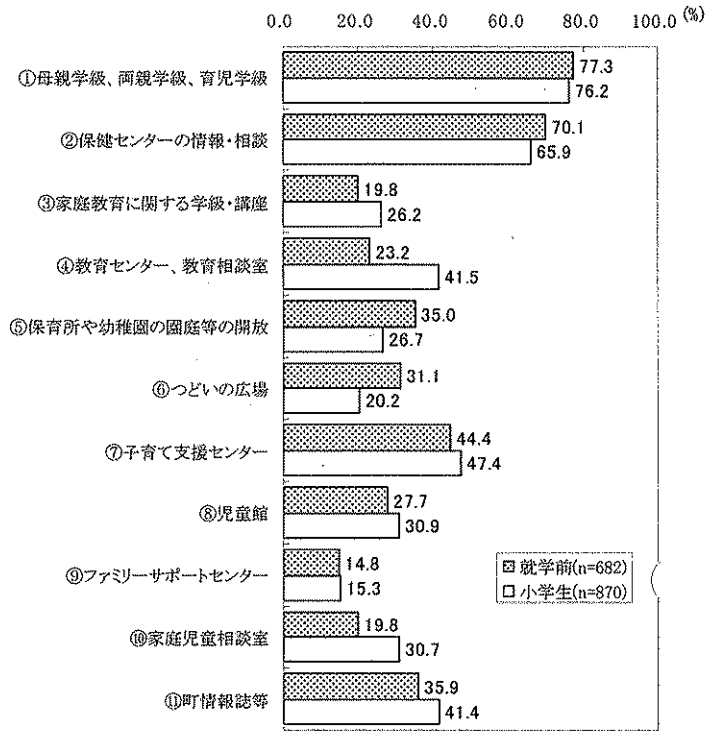
### ④満足度

- 利用経験者の満足度をみると、おおむね、いずれも4割以上の満足度となっています。中でも、就学前児童では、町外の施設と思われる「⑧児童館」は6割近い満足度となっています。
- 小学生では、「⑩家庭児童相談室」「③家庭教育に関する学級・講座」「②保健センターの情報・相談サービス」「①母親学級、両親学級、育児学級」は5割を超える満足度となっています。

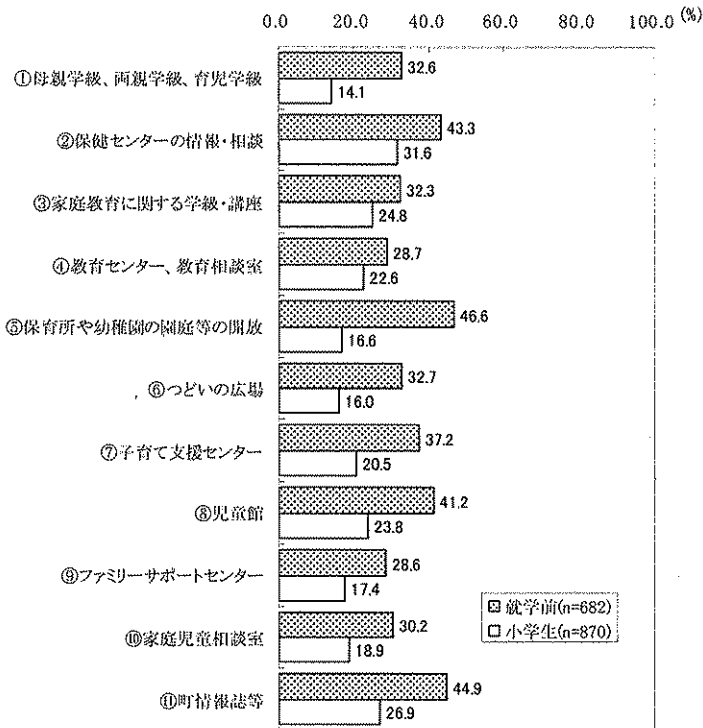
【認知率】



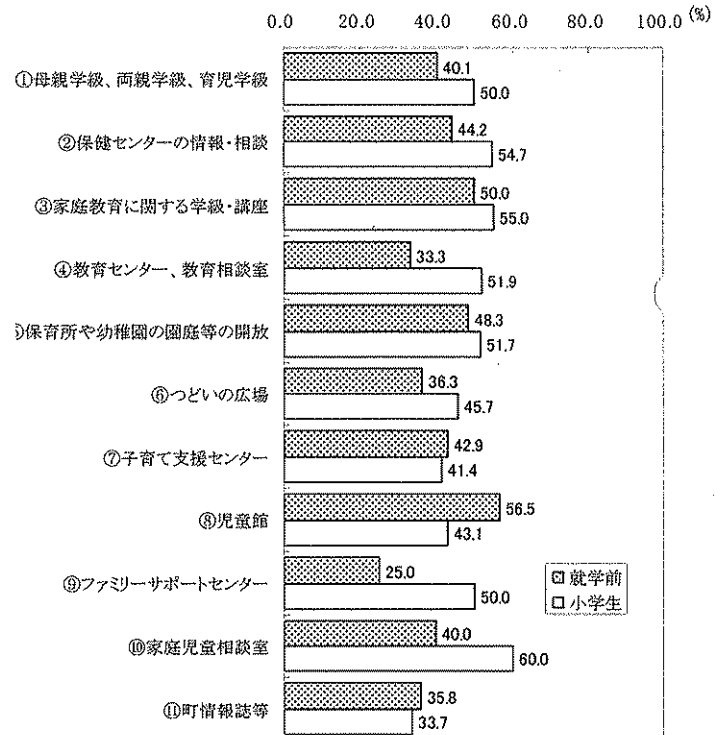
【利用率】



【利用意向率】



【満足度】



## 2. 親子の健康の確保状況

### (1) 母子保健サービスの実施状況

- 妊産婦の保健事業としては、3事業あります。乳幼児の健康診査事業として5事業、母子保健事業として7事業あり妊娠期から就園前までの子育て支援を一環して実施しています。
- 歯科事業は3事業実施しています。
- 予防接種事業は個別接種、集団接種を実施しています。

#### ■妊産婦保健事業■

番号	事業名	事業概要	実施内容 (回数、利用者数等)
1	母子健康手帳交付	母子健康手帳を交付し、妊娠中の生活等を指導	妊婦
2	妊婦健康診査	妊娠届を出した妊婦に妊婦健康診査受診票を交付	妊娠届を出した妊婦
3	妊産婦訪問指導	必要に応じて保健師、母子保健推進員が訪問	妊産婦

#### ■乳幼児健康診査事業■

番号	事業名	事業概要	実施内容(回数、利用者数等)
1	乳児健康診査	保健センターにて集団健診(計測、診察、保健・栄養指導)、歯科指導	4ヶ月児、10ヶ月児の乳児、必要な乳児
2	乳児健康診査	医療機関にて個別健診(健診表を発行)	12ヶ月までに1回使用
3	1歳6ヶ月児健康診査	保健センターにて集団健診(計測、診察、保健・栄養指導、歯科指導、フッ素塗布)	1歳7ヶ月児
4	3歳児健康診査	保健センターにて集団健診(計測、診察、保健・栄養指導、歯科指導、フッ素塗布、視力・聴力検査)	3歳7ヶ月児
5	乳幼児精密健康診査	医療機関にて精密健診(健診表を発行)	精密健診が必要な乳幼児

#### ■歯科事業■

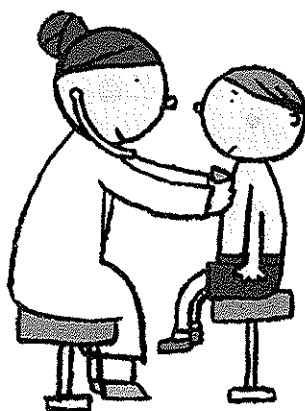
番号	事業名	事業概要	実施内容(回数、利用者数等)
1	フッ素洗口	町内の保育園・幼稚園において週1回フッ素洗口を実施	年中児・年長児
2	フッ素塗布	1歳6ヶ月児、3歳児健診時にフッ素塗布を実施	健診対象者
3	歯科保健教室	ブラッシング指導、歯の役割についての指導	町内の小学校3年生

### ■母子保健支援事業■

番号	事業名	事業概要	実施内容(回数、利用者数等)
1	乳児訪問(新生児含む)	第1子及び希望者、必要な乳児への家庭訪問	第1子、希望者、必要な乳児
2	2ヶ月児相談	保健センターにて健診。予防接種の受け方等の指導及び育児指導	2ヶ月児
3	育児相談	毎週月曜日に育児相談日を設けているが、相談は随時可能。電話相談も随時	住 民
4	育児学級	保健センターにて子育てに関する教室、講座を開催	就園前の子どもと保護者
5	親子わくわく広場	毎週月曜日に保健センターを開放し、親子のふれあい及び友達づくりを推進	就園前の子どもと保護者
6	ママ教室	料理を通しての食育教室。母子保健推進員、食生活改善推進が主催	子育て中の保護者
7	母子保健推進員活動	みやき町から委嘱を受け、身近な子育て応援隊として活動中。 家庭訪問や母子保健事業の情報提供等を行っている	—

### ■予防接種事業■

事業名	事業概要	対象者等
予防接種	ポリオ 二種混合:集団接種 三種混合、麻しん風しん混合 BCG:個別接種 日本脳炎:個別接種だが、積極的勧奨 差し控え中	ポリオ:生後3ヶ月～90ヶ月未満 三種混合:生後3ヶ月～90ヶ月未満 麻しん風しん混合; 第1期:生後12ヶ月～24ヶ月未満 第2期:5歳～7歳未満 BCG;生後3ヶ月～6ヶ月未満



## (2) 医療費助成事業・手当の給付等

- 医療費助成事業としては、乳幼児医療、ひとり親家庭医療、重度心身障害者医療の3事業があります。
- 手当関連では、国の制度に基づく4事業が行われています。

### ■医療費■

番号	事業名	事業概要	対象者等
1	乳幼児医療費助成事業	乳幼児(小学校就学前まで)に対する医療費の助成 ・3歳未満……現物給付(自己負担300円) 償還払い(自己負担ない) ・3歳～就学前…入院のみ(自己負担500円)	3歳未満 登録: 551人 申請:延べ 10,862件 3歳～就学前 登録: 604人 申請:延べ 27件
2	ひとり親家庭医療費助成事業	母子家庭の母、父子家庭の父及びその者に監護されている児童、父母のいない児童又は一人暮らしの寡婦(一人暮らしの寡婦については、平成23年10月までで段階的に廃止)に対し医療費を助成 ・母子家庭の母…20歳未満のものを監護 ・父子家庭の父…20歳未満のものを監護 ・児童………18歳に達した日の属する年度の末日までにある者 ・助成対象者1人につき各診療月500円自己負担 ・一人暮らしの寡婦については段階的に自己負担引き上げ(所得制限有り)	登録: 総数 600人 母子世帯 551人 父子世帯 31人 その他世帯 18人 申請: 母子世帯延べ 4,155件 父子世帯延べ 110件 その他世帯延べ 230件
3	重度心身障害者医療費助成事業	重度の身体障がい又は知的障がいを有する者について、医療費を助成 ・身体障がい者…身障手帳1・2級の重度身体障がい者 ・知的障がい者…知能指数の35以下の重度知的障がい者 ・身体障がい者かつ知的障がい者…身障手帳3級で知能指数の50以下の重複障がい者 ・助成対象者1人につき各診療月500円自己負担(所得制限有り)	H20年度 登録: 623人 うち18歳以下 19人 申請:延べ 296件

(注)上記事業は登録はすべて平成20年3月1日現在、申請は平成20年度実績

### ■手当の給付等■

番号	事業名	事業概要	対象者等
1	児童手当の支給	・小学校修了前(12歳に達した年度末まで)の子どもを養育する者に対し、手当を支給する。 ・所得制限有り。	平成21年3月末現在 受給者 1,618人 対象児童数 2,356人
2	児童扶養手当の支給	・父親と生計を同じくしていない児童(18歳に達した年度末まで、障がい児は20歳まで)を養育する 母親等に対し、手当を支給する。 ・所得制限有り。	平成21年3月末現在 受給者 192人
3	特別児童扶養手当の支給	・心身に障がいのある児童(20歳未満)を養育している者に対し、手当を支給する。 ・所得制限有り。	平成21年3月末現在 受給者 33人
4	障害児福祉手当	・20歳未満の重度障がい児に対し、障がいによって生じる特別な負担の軽減を図る一助として手当での支給を実施する。	平成21年3月末現在 受給者 10人

### (3) 障害児及びその保護者に対する福祉サービス

- 本町の身体障害児(18歳未満)は、平成20年度で18人であり、そのうち肢体不自由の障害者が9人となっています。その他、療育手帳(精神発達遅滞)所持者が33人となっています。
- 障害児が利用できる福祉サービスとしては、以下の10事業が実施されています。

#### ■障害児数(18歳未満)■

区 分		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
(18歳未満)所持者	肢体不自由	14	9	10	10	9
	視覚障害		2	2	2	1
	聴覚・平衡機能	2	1	2	3	2
	音声・言語・咀嚼					
	内部障害	3	4	4	4	6
	計	19	16	18	19	18
精神発達障害(遅滞)療育手帳所持者		16	22	31	28	33

#### ■福祉サービス等■

番号	事業名	事業概要	対象者等
1	心身障害者扶養共済制度	障がい児を扶養している保護者が相互扶助の精神に基づいて一定額の掛け金を納付することにより、保護者が死亡又は重度障がいの状態になったとき障がい児に終身一定額の年金を支給する任意加入制度。	障がい児
2	日常生活用具給付事業	日常生活の便宜を図るために日常生活用具等の給付を行う。	障がい児
3	補装具費交付事業	身体的欠損又は身体機能の損傷を補い、日常生活を容易にするために必要な補装具の購入又は修理に要した費用について補装具費を支給する。	障がい児
4	有料道路割引制度	重度の障がい児が乗車し、その移動のため介護者が運転する乗用自動車(生計同一者所有)について、登録により料金割引が適用される。	重度障がい児 生計同一者
5	居宅介護	ホームヘルプサービスの支給が必要と判断された障がいのある人の家庭に対してヘルパーを派遣し、入浴・排泄・食事等の身体介護、洗濯・掃除等の家事援助、通院時の介助等を行なうことにより、利用者やその家庭が安心して在宅で生活を送ることができるよう援助する。	障がい児
6	行動援護	知的障がい、精神障がいによる行動上の著しい困難があり、常時介護を要する障がいのある人に対してヘルパーを派遣し、行動の際に生じ得る危険を回避するための援護や外出時における移動中の介護を行う。一定の要件を満たしている人が対象。	障がい児
7	児童デイサービス	療育指導が必要と判断された障がいのある子どもを対象に、日常生活における基本的な動作を取得し、集団生活に適應できるよう、身体及び精神の状況や環境に応じた適切な訓練を行う。	障がい児
8	短期入所	自宅で介護する人が病気の場合等に、施設への短期間の入所を必要とする障がいのある人を対象に、短期間夜間を含めて入浴・排泄・食事等の介護を行う。	障がい児
9	移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある人に対し、社会生活上必要な外出及び余暇活動等の社会参加を目的とする外出の際の移動を支援する。	障がい児
10	日中一時支援事業	一時的に見守り等の支援が必要な障がいのある人に対して、日中における活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための日常的な訓練等を行うことにより、その家族の就労や一時的な休息を支援する。	障がい児

#### (4) 性教育等思春期学習の状況

●性教育等に関する学習等事業では、中学校生徒向けとして「思春期教室」が実施され、外部講師による性に関する教育の講話等が行われています。

#### ■性教育等思春期学習関連事業■

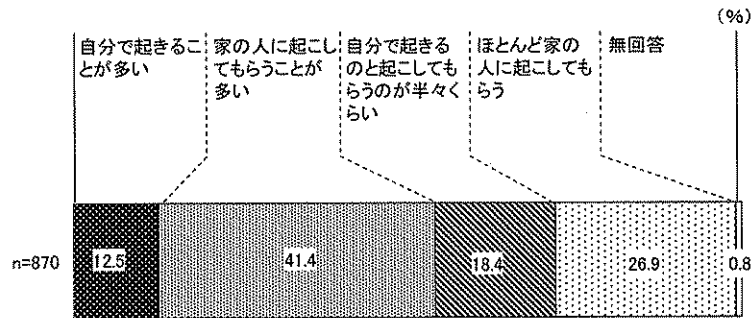
事業名	事業概要(時期、内容、参加者数等)
思春期教室	各中学校／外部講師による性に関する教育の講話／全学年・教職員・保護者

### 3. 教育環境の状況

#### (1) 家族とのかかわりや学校生活について

##### ①子どもの起床の様子について(小学生)

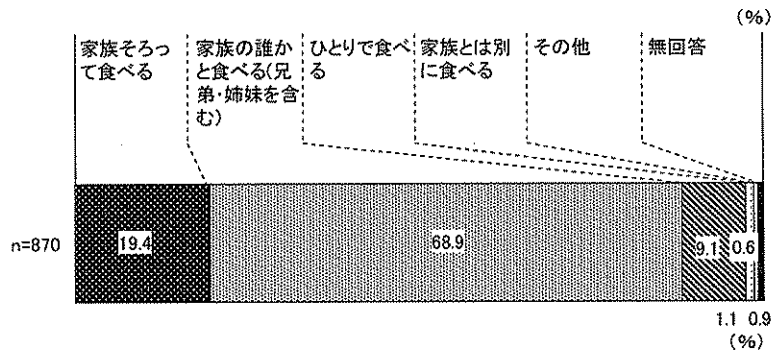
●起床方法としては、「自分で起きることが多い」は12.5%にとどまり、「家の人に起こしてもらうことが多い」(41.4%)、「ほとんど家の人に起こしてもらう」(26.9%)を含め家の人に頼ることが多い児童が7割近くを占めています。



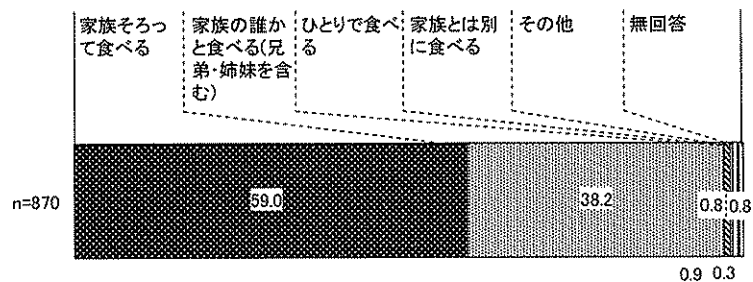
##### ②朝食と夕食の摂食状況(小学生)

●子どもの食事については、夕食は「家族そろって食べる」が59.0%となっていますが、朝食は通学・通勤の時間帯の違いからか、揃って食べることは少なく、19.4%に留まっています。

#### 【朝食】

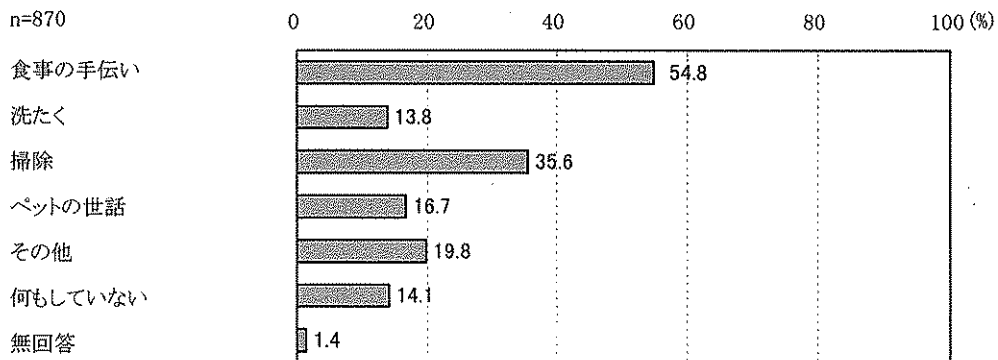


#### 【夕食】



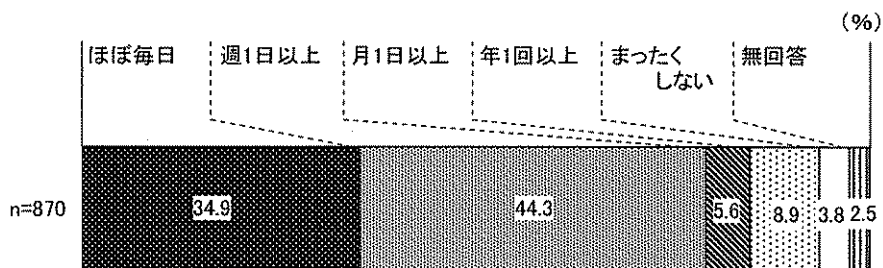
### ③家の手伝い(小学生)

●家の手伝いについては、「食事の手伝い」が54.8%でもっとも高く、次いで、「掃除」の35.6%となっており、これら2つが主な内容となっています。



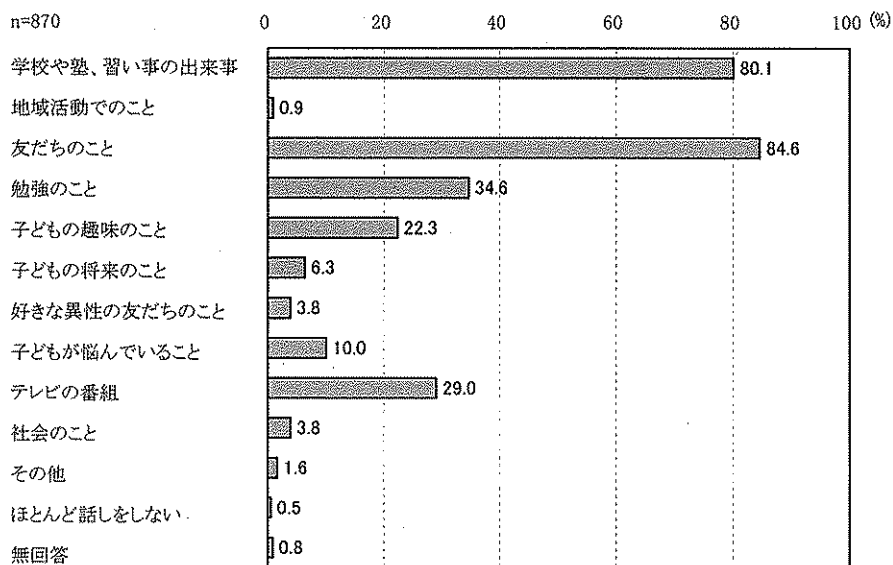
### ④家の手伝いをする頻度(小学生)

●家の手伝いをする頻度としては、「週に2~3日」が44.3%、「ほぼ毎日」が34.9%となっており、約4人に3人は、週に1日以上は家の手伝いをしています。



### ⑤子どもとの会話の内容(小学生)

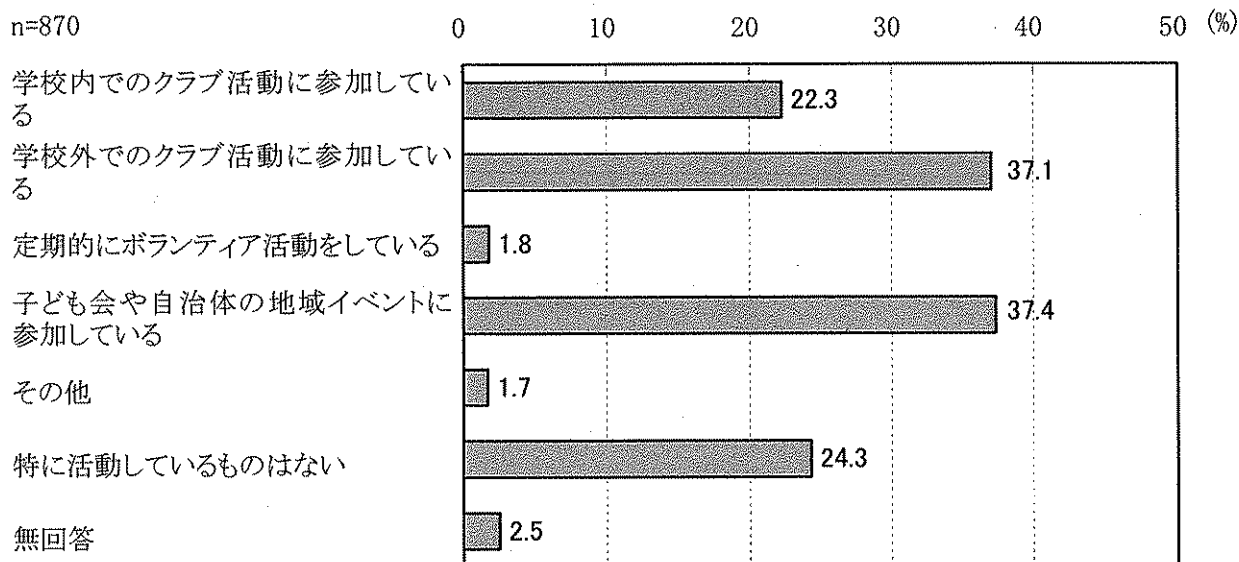
●子どもと話す内容としては、「友だちのこと」84.6%と「学校や塾、習い事の出来事」80.1%の2つが特に高く、次いで、「勉強のこと」が34.6%となっています。





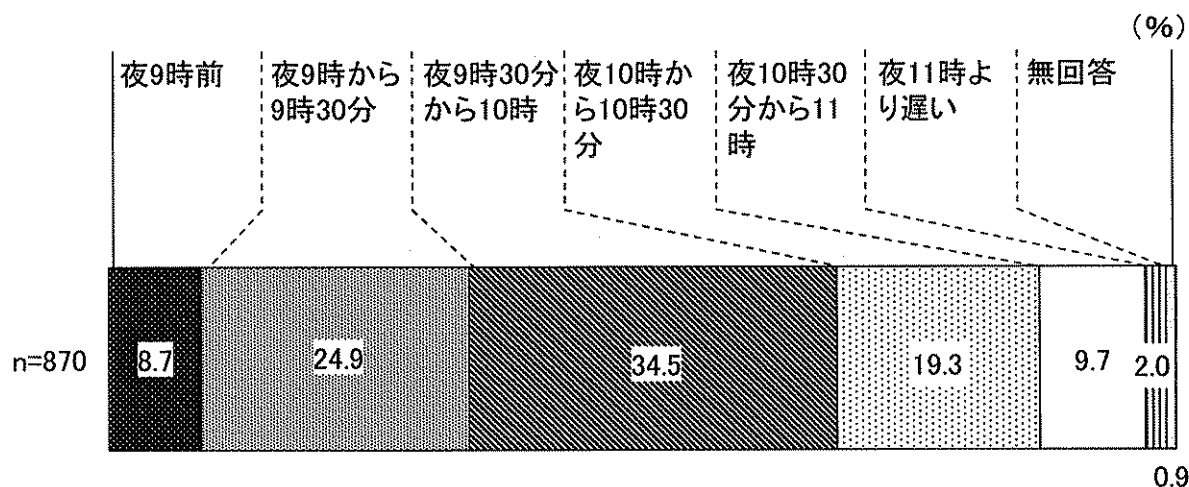
⑥クラブ活動や地域活動の参加状況(小学生)

●子どもがしているクラブ活動や地域活動としては、「子ども会や自治会の地域イベントに参加している」37.4%と「学校外でのクラブ活動に参加している」37.1%の2つが高くなっています。



⑦子どもの就寝の様子について(小学生)

●就寝時間としては、「夜9時30分から10時」が34.5%でもっとも高く、次いで「夜9時から9時30分」の24.9%となっており、おおむね、9時台に就寝する児童が全体の6割占めています。



(2) 幼稚園、学校の状況

- 本町の教育施設は幼稚園5園、小学校4校、中学校3校となっており、児童・生徒数の推移は、幼稚園は微減、小学校は増加、中学校は減少傾向となっています。
- 奨学資金等経済的支援事業として3事業が実施されています。

■児童・生徒数の状況■

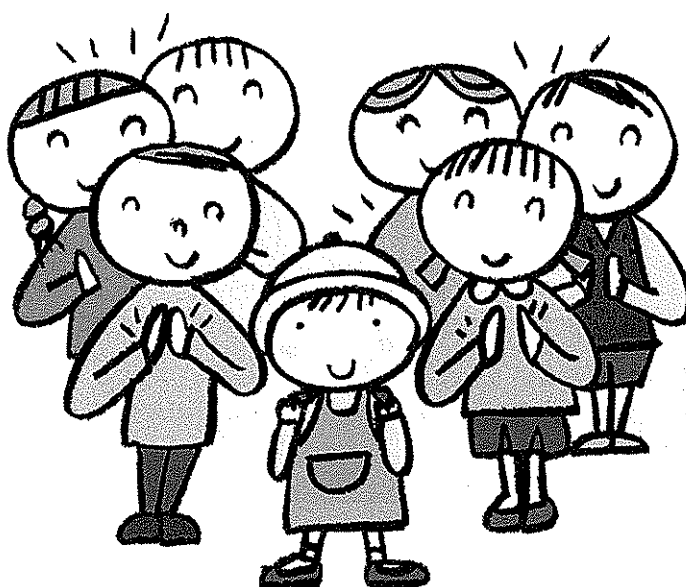
(カ所、校、人)

区分	施設数	平成19年	平成20年
幼稚園	5	298	290
小学校	4	1,379	1,390
中学校	3	710	671

(資料:教育委員会資料 各年5月現在)

■奨学資金等経済的支援事業■

番号	事業名	事業概要
1	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費	学校給食費・学用品費・新入学用品費等の就学に係る援助
2	特別支援教育就学奨励費	特別支援学級に在籍する児童生徒や通級にかかる児童について、学校給食費・学用品費・新入学用品費等の就学に係る援助
3	みやき町育英資金貸付金	勉学等に優秀な者で、高校・大学に進学が経済的に困難な者に対して、貸付を行う



### (3) 学校・地域・家庭における教育環境の状況

- 青少年育成事業等各種の社会活動は多岐にわたっており、それぞれの分野で充実した事業メニューとなっているとともに、ユニークな取り組みもあり、今後の青少年育成事業の展開上、重要な役割を担うものとして位置づけられます。
- 放課後子ども教室推進事業として全部で4事業が実施されており、3校区ごとに、毎月2回土曜日に様々な取り組みが実施されており、活気のある事業となっています。

#### ■青少年育成事業を含む体験活動等各種活動の実施状況■

事業名	事業概要
子どもクラブスーパーキックベースボール大会	青少年のスポーツ活動を助長するとともに、町内の子どもたちが一堂に会し、親睦・融和を図る
子どもクラブペタンク大会	ペタンク競技を通じて、本町子どもクラブ会員の親睦を図り、合わせて体力の増進を図る
少年スポーツクラブ振興会野外活動講習会	野外での団体行動や飯ごう炊飯等で連帯意識を養うとともに、団体活動でのリーダーシップを学ばせる講習会
少年スポーツクラブ振興会交流大会	ドッチビー競技を通じて、少年スポーツクラブ員相互の親睦と合わせて、体力の増強を図るとともにスポーツ愛好の精神と、心身ともに健全で協調性のあるクラブ員を育成する交流大会を実施

#### 【国際交流】

事業名	事業概要
国際交流陶芸教室	国際交流会主催により、海外からの留学生やみやき町及び周辺の市町に在住の外国の方と一緒に陶器作りを楽しみながら、国際感覚を養い相互理解を深める
国際食文化交流会	国際交流会主催により、海外からの留学生やみやき町及び周辺の市町に在住の外国の方と一緒に料理作りを楽しみながら、国際感覚を養い相互理解を深める

#### ■学校評議員制度の活用状況■

事業名	事業概要	実施内容(回数、利用者数等)
学校評議員制度	各学校にて	学期に1回ずつ

#### ■放課後子ども教室推進事業■

番号	事業名	事業概要	実施内容(回数、利用者数等)
1	中原風っ子元気スクール	ニュースポーツ、手芸、木工細工、英会話、ハンドベル、土曜スクール	毎月第1・3土曜日に開催
2	茂安っ子いきいきスクール	ニュースポーツ、手芸、茶道、遊んじゃ王、英会話、ハンドベル	毎月第1・3土曜日に開催
3	三根わくわくスクール	ニュースポーツ、小物作り、遊んじゃ王、英会話、ハンドベル	毎月第1・3土曜日に開催
4	夏休み子ども教室	ビーズアクセサリー、なんでもサイエンス(木工細工等)、料理教室、囲碁、将棋、フラダンス、さおり織り体験、紙飛行機、和太鼓体験、水彩画、華道	開催日は教室により任意設定 10教室開催

#### 4. 住宅・居住環境の状況

##### (1) 生活基盤の整備状況

- 公営住宅においては、6団地に幼児公園が設置されています。
- 規模的には150㎡から1,020㎡にわたり、遊具、砂場が設置されています。
- そのうち、3施設は昭和55年以前に設置されており、整備後30年以上経過しています。

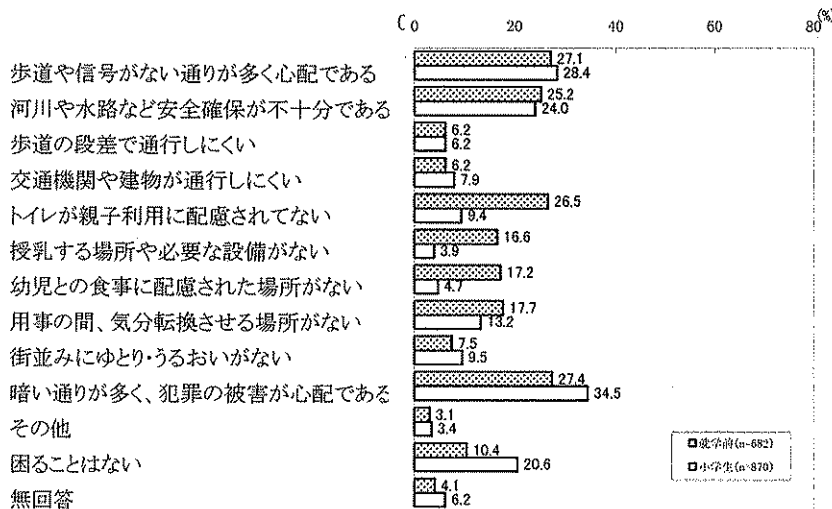
##### ■公営住宅における子育て支援のための設備等の実施状況■

事業名	対象施設	事業概要(実施年度、具体的な設備等の内容)
幼児公園	綾部団地	昭和47年より、面積566㎡、遊具 有 対象団地戸数 58戸
幼児公園	北浦団地	昭和55年より、面積 360㎡、遊具・ベンチ・砂場 有 対象団地戸数 54戸
幼児公園	第2北浦団地	平成10年より、面積 150㎡、遊具・東屋 有 対象団地戸数 88戸
幼児公園	石貝団地	平成元年より、面積 661㎡、遊具 無 対象団地戸数 116戸
幼児公園	天建寺団地	昭和47年より、面積 294㎡、遊具・砂場 有 対象団地戸数 78戸
幼児公園	新町団地	平成6年より、面積 1,020㎡、 遊具・ベンチ・砂場 有、対象団地戸数 30戸

##### (2) 外出時の問題点等

- 子どもと外出するときに、困ること・困ったこととしては、就学前・小学生とも「暗い通りが多く、犯罪の被害が心配である」がもっとも高く、以下、「歩道や信号がない通りが多く心配である」「河川や水路など安全確保が不十分である」と続いており、犯罪や災害時での不安感等が上位を占めています。
- それ以外では、就学前では「トイレが親子利用に配慮されていない」、小学生では「用事の間、気分転換させる場所がない」が比較的特徴的な項目となっています。
- 全体的には、バリアフリー化への対応や交通安全・防犯への対応が求められています。

##### ■子どもと外出するときに、困ること・困ったこと/就学前・小学生アンケート(複数回答)■



### (3) 防犯、交通安全対策等の実施状況

- 交通安全教室については、小学生を対象にして、道路上での注意点や自転車の乗り方の注意点等を中心に開催されています。
- 「子ども110番の家」事業としての避難場所の設置は319件にのぼっています。
- 全小中学校を対象に、防犯ブザーや中学生ヘルメットの購入補助、安全マップの作成等が実施されています。
- 防犯灯の設置件数は平成20年度で2,342件となっています。

#### ■子どもや親に対する交通安全教室、防犯指導等の実施状況■

事業名	対象施設	事業概要(時期、内容、参加者数等)		
交通安全教室	三根東小学校	平成20年4月16日	児童を対象とした交通安全教室(道路上での注意点や自転車の乗り方の注意点等)	197人
	北茂安小学校	平成20年4月28日	同 上	491人
	三根西小学校	平成20年5月9日	同 上	221人
	中原小学校	平成20年5月13日	同 上	481人

#### ■「子ども110番の家」等緊急避難場所の設置状況■

事業名	事業概要(設置件数等)
子ども110番の家 設置事業	緊急事案が発生した場合の緊急避難場所の確保・犯罪被害を地域において防止することを目的とする。設置件数 319件

#### ■その他子ども等の安全の確保に係る事業等の実施状況■

事業名	事業概要
各学校にて	防犯ブザーの購入補助・中学生ヘルメットの購入補助・安全マップの作成

#### ■防犯灯設置件数の推移■

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
2,199	2,246	2,286	2,338	2,342

(件)

## 5. 要保護児童への対応状況

### (1) 児童虐待の実態

●児童虐待の相談件数は、平成18年度3件、同19年度4件ですが、平成20年度は相談の実績がありませんでした。

#### ■児童虐待の状況■

区分	(件)		
	平成18年度	平成19年度	平成20年度
相談件数	3	4	0

(資料：福祉行政報告例)

### (2) いじめ、不登校、少年非行等の状況

- 平成20年度の小・中学校における「いじめの発生件数」「暴力発生件数」はありませんが、「不登校児童生徒数」は7件となっています。
- 「不登校児童生徒数」はここ1年、減少傾向にあります。
- 児童生徒への支援事業としては、平成19年度より学校や保護者との連携・学習保障のための「不登校対策事業」が実施されています。

#### ■児童生徒の問題行動等の状況■

区分	学級数 (クラス)	児童 生徒数 (人)	いじめの発生件数		不登校児童生徒数		暴力行為発生 件数
			(件)	左の内年度に 内解決した数	(件)	左の内年度に 内解決した数	
				(件)		(件)	
平成19年	76	2,089	0	0	13	2	0
平成20年	74	2,061	0	0	7	0	0

(資料：学校基本調査、児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査)

#### ■児童生徒への支援事業■

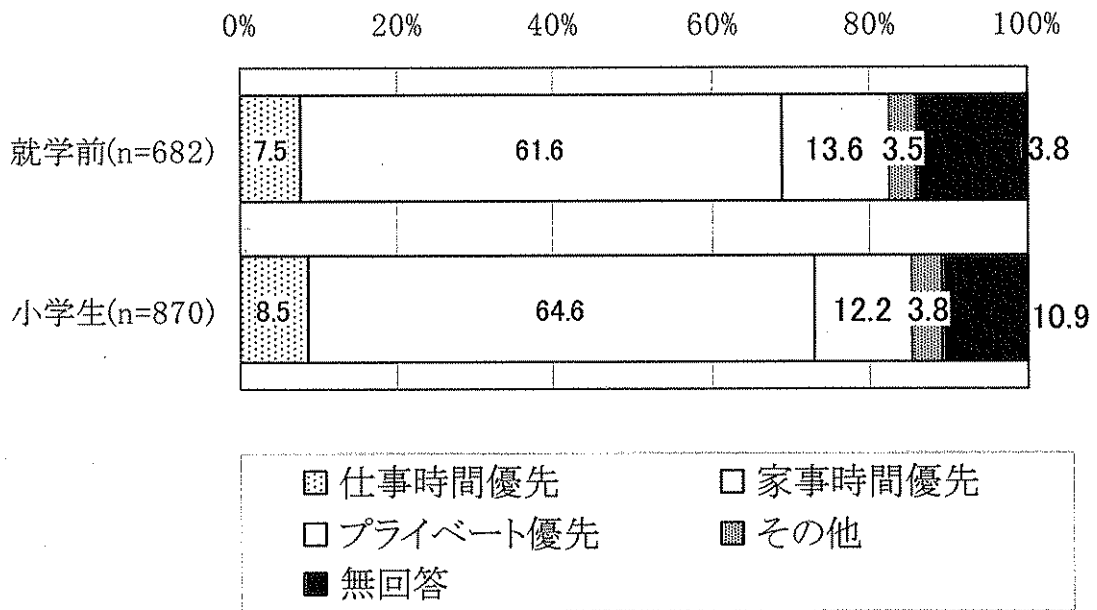
事業名	事業概要(設置年度、内容、参加状況等)
不登校対策事業	平成19年度より みやき町教育委員会内 学校や保護者との連携・学習保障

## 6. 職場生活と家庭生活との両立

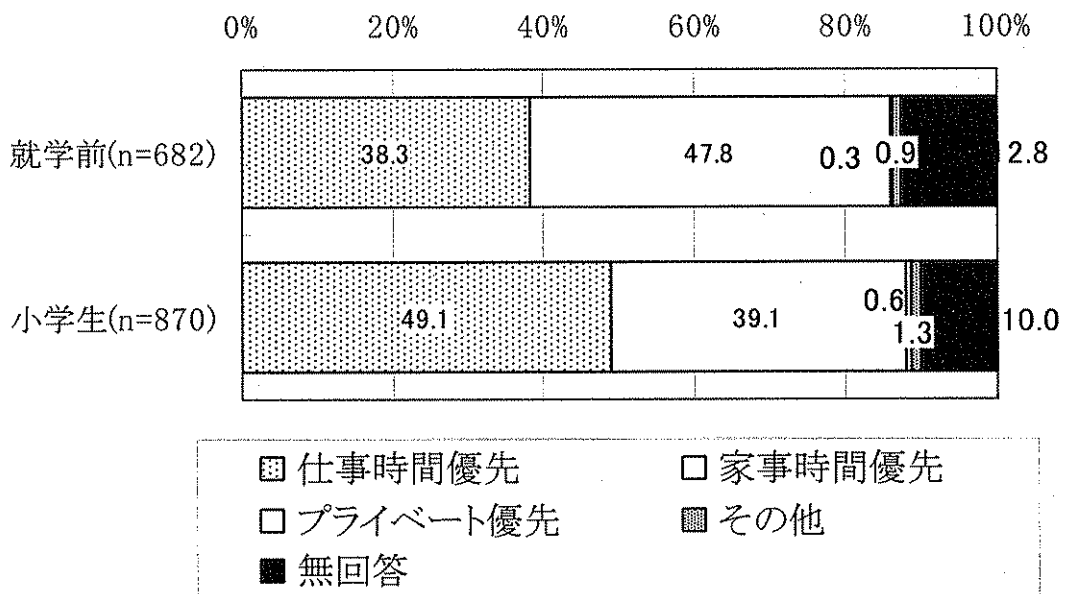
### (1) 仕事と育児等の優先度

●「仕事時間」と「家事(育児)」「プライベートの生活時間」の優先度では、就学前、小学生ともに、希望としては「家事(育児)時間を優先」の割合が圧倒的に高いですが、現実としては「仕事時間を優先」せざるを得ない状況を示しています。

#### 【希望】



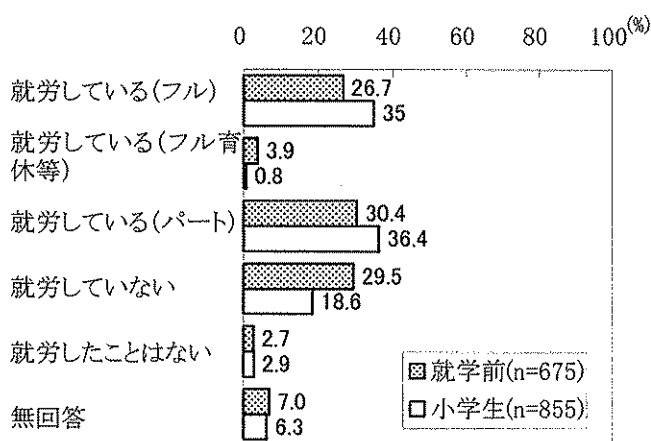
#### 【現実】



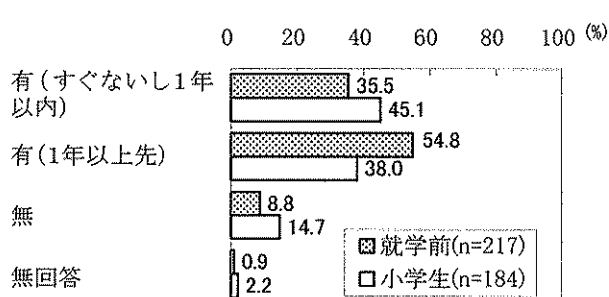
## (2) 女性の就労状況

- 就業している母親の形態としては、就学前では「フルタイム」26.7%、「パートタイム」30.4%に対し、小学生の場合は「フルタイム」35.0%、「パートタイム」36.4%、となっています。
- 先の仕事と家事の優先度の意識を踏まえた上で、今後の就労希望をみると、期間は別にすると、就学前、小学生とも8割から9割の保護者が就労を希望しています。
- 就労していない理由としては、就学前、小学生とも「働きながら子育てできる適当な仕事がない」がもっとも高く、「ワーク・ライフ・バランス」を実現させるための環境が整っていないことを示しています。

### 【母親の就労状況】



### 【母親の就労希望】



### 【母親が就労していない理由】

